

理科シラバス 高校3年

1. 学習の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(科目) 生物演習	3 単位	第3 学年	教科書：高等学校生物、高等学校生物基礎（第一学習社） 資料集：スクエア最新図説生物（第一学習社） 問題集：セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）
学習の到達目標	①自然環境や生物に関連する基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ②生物や生物による現象などに主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 ③履修済みの生物基礎および生物の知識を定着させ、探究する力や、考察する力を獲得する。		
評価の観点	科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞ 科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞ 科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの
 B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
 C：「努力を要する」状況と判断されるもの
 D：未提出、未実施

2. 学習内容及び評価方法

月	単 元	学習のねらい	実験実習・学習のポイント
一学期 中間	生物基礎全範囲 生物 第1章 生物の進化	共通テスト型選択肢問題の演習を行い、回答のコツをつかみながら応用力をつける。	・化石標本等を実際に手に取りながら理解を深める

一学期期末	生物基礎全範囲 生物 第2章 生物の系統と進化、第3章 細胞と分子、第4章 代謝	共通テスト型選択肢問題の演習を行い、回答のコツをつかみながら応用力をつける。	・関連分野で実施し残していた実験、実習を適宜実施する。
一学期中間	生物基礎全範囲 生物 第5章 遺伝情報とその発現、第6章 遺伝子の発現調節と発生、第7章 遺伝子を扱う技術とその応用、第8章 動物の反応と行動	共通テスト型選択肢問題の演習を行い、回答のコツをつかみながら応用力をつける。	・関連分野で実施し残していた実験、実習を適宜実施する。
二学期期末	生物基礎全範囲 生物 第9章 植物の成長と環境応答、第10章 生態系のしくみと人間の関わり	共通テスト型選択肢問題の演習を行い、回答のコツをつかみながら応用力をつける。生物全範囲の総復習を行い、履修した知識を応用できる力をつける。	・生物基礎および生物に登場する計算問題演習をビンゴ形式にして実施する。 ・生物基礎および生物に登場する人名について一通り触れる実習を行う。
評価の観点及び内容			評価方法（具体例）
科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞			実験・実習課題提出
科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞			実験・実習課題提出、授業内 考査
科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞			授業内考査